

テーマ ゆき

しよめい	ちょしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゅうきごう	ないよう
ゆきのひ	加古 里子／さく・え	福音館書店	エホン/カ	ふゆになると、たくさんゆきがつもるまちのようすが、かかれたえほんです。そこには、まちにすむひとたちや、ゆきぐにでくらすくふうが、たくさんとうじょうします。たこあげやかまくらであそんだり、ちょっとなつかしい、ゆきぐにのくらしをみることができます。
はたらきもののじょせつしゃ けいていー	バージニア・リー・バートン／ぶんえ 石井 桃子／やく	福音館書店	エホン/ハ	トラクターのけいていーは、じえおぼりすというまちでじょせつさぎょうをしています。あるふゆに、2かいのまどのたかさまでゆきがふりつもります。けいていーは、じょせつさぎょうにおおいそがし。はたして、まちのせいかつをとりもどせるでしょうか？
ゆきのひ	サム・アッシャー／作・絵 吉上 恭太／訳	徳間書店	エホン/ア	あさめがさめるとゆきがふっていた。あーあ、いやなおてんきだな。おじいちゃんになにもしたくないんだとそうだとすると、とくべつなことをしようといってくれた。なにをするのかとおもったら、そりをつくってくれた。さあ、そりあそびにでかけよう。
ゆき	ユリ・シュルヴィッツ／作 さくま ゆみこ／訳	あすなろ書房	エホン/シ	はいいろのそらから、ゆきがひとひらまいおりてきた。おとこのこが「ゆきがふっているよ」といったが、おとなはふっているとはいわない。そのごもひとひらまたひとひら。おとなたちも、ラジオもテレビも「ゆきはふらないでしょう」というけれど、ゆきはつぎつぎとなかまをよんだ。
雪の花 ロシアのお話	セルゲイ・コズロフ／原作 オリガ・ファジェーエヴァ／絵 田中 友子／文	偕成社	エホン/フ	森のどうぶつたちがモミの木をかざりつけていました。ところがクマくんのすがたが見えません。むかえにいくと、高い熱をだしてねていました。「雪の花」がないと治らないと聞いたハリネズミは、だれも見たことのない「雪の花」をさがしに、雪深い森の中へかけだしました。
このゆきだるまだーれ？	岸田 衿子／文 山脇 百合子／絵	福音館書店	SEホン	もみちゃんはそりであそぼうとします。すると、りすとぶたとくまといぬとうさぎがいっしょにそりにのりたいとやってきます。みんなでやまのうえからすべると、とちゅうでみんながおちて、ころころころがって、ゆきだるまになっちゃった。このゆきだるまだーれ？